

第6学年学級活動(2)指導案

日 時：令和○年○月○日(○)○校時

学 級：第6学年○組○名

場 所：6年○組教室

授業者：○○ ○○○

1 題材 「わたしたちの責任の及ぶ範囲を考えよう」

(「はじめよう！デジタル・シティズンシップの授業」を参考に改変)

学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、普段の学習で1人1第端末を活用するだけでなく、学校外でもスマートフォンやパソコンなどを利用する機会が多い。また、インターネット環境も整っている家庭も多い。そのため、メディアの活用能力が学級全体で高い。様々な情報を生活の中で活用できている一方で、友だちとのメッセージのやり取りでのトラブルや誤った情報を信じてしまうことも起こってきた。このような実態の中、インターネットを適切に利用できるようにするために、実際に起こったトラブルの事例を紹介したり、情報の真偽について考える機会を作ったりして指導を行った。児童は情報を扱う上でのリスクを知り、それらを念頭に置きながらメディアを活用する姿が見られてきた。しかし、情報を発信する際には、その影響力や他者がどう受け取るかということまでイメージができていない児童が多い。

以上より、情報の受信者だけでなく、発信者としてどのように情報を扱っていくのかを学習していく必要があると考える。

(2) 題材設定の理由

デジタル世界では、自身が発信した情報について、消えることのない足跡として、自分の出会ったことのない人にまで影響を及ぼすことがある。そのようなことを理解した上で、インターネットでの行動の振る舞い方やあり方を考えられるようにする。また、自分や他者に対する責任について考えることを通して、インターネット上での行動には責任が生じることを理解できるようにする。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 本時のキーワード

・責任

自分や他の人に対してしなければいけないこと

・責任のリング

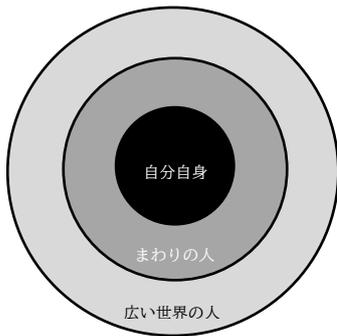
オンラインで行動するとき、「自分自身」、「まわりの人」、「広い世界の人」に対して、責任が及ぶ範囲を考えるリングのこと。

5 本時のねらい

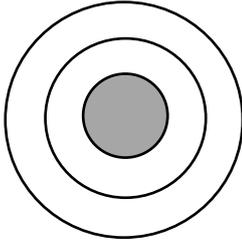
デジタル世界では、発信した情報が残ることを学習し、その影響の及ぶ範囲を責任のリングを用いて理解したうえで、インターネットを利用する際の自分の行動に生かすことができるようにする。

6 本時の展開

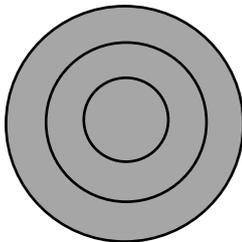
時間	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿
導入(つかむ)	<p>1. 「責任」の言葉の意味を確認する。</p> <p>【責任】の言葉の定義を確認 「自分や他の人に対してしなければいけないこと」</p>	<p>○「委員会や係の仕事は責任を持って取り組もう！」という児童がよく耳にする声かけなどの事例をあげて、「『責任』とはどういう意味なのだろうか？」と問いかけ、児童に発言させる。</p> <p><予想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしなければならないこと ・人のためにすること <p>○発言の中からキーワードとなる言葉を取り上げながら「責任」について解説をし、定義づけをする。</p> <p>○責任を果たすことで、大きな成果を得ることができる点を伝える。</p>	
展開(さぐる)	<p>2. めあてを提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">インターネット上の情報の及ぼす範囲を考えよう</div> <p>3. オンラインで行動する時の責任について考える。</p>	<p>○責任のリングの図を示し、どのような場面で責任のリングのそれぞれの輪に対して責任が生まれると思うか、問いかける。</p> <p>○責任のリングの図を児童に見せながら、1人の行動は、以下の3つの輪の人に影響を与えること</p>	



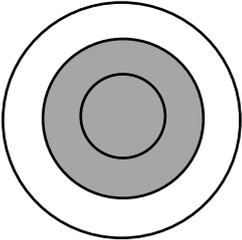
①



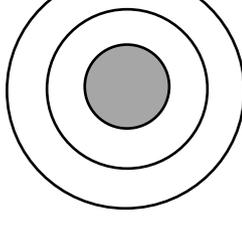
②



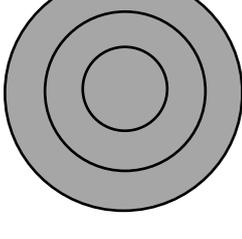
③



④



⑤



を確認する。

自分自身

・中心の輪は自分の安全や健康を守るなど自分自身に対する責任を示している。

まわりの人

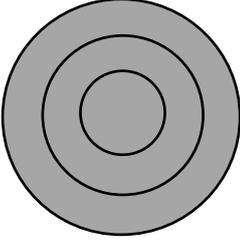
・2番目の輪は、自身が知っている人や日常的にやりとりをする人、生活する人など、周囲の人に対する責任を示している。友人や家族が含まれる。

広い世界の人

・一番外側の輪は、より広い世界に対する自身の責任を示している。自身は出会ったこともなく、知らない人の中で、行動が影響を与える可能性のある数多くの人が含まれる。

○以下の①～⑥の事例について、「自分自身」「まわりの人々」「広い世界の人」のどの責任のリングだと思うかを考えて、ワークシートを塗り分け、なぜそのようにリングを塗ったのかについて、理由を考える。

1. 自分の年齢でも問題のないアプリやゲームだけを使う(自分自身)
2. 本当かどうかわからない情報をインターネットで投稿する(広い世界の人)
3. メッセージや写真、動画を、仲の良いグループのみが見られるサイトで共有する(まわりの人々)
4. 初めて出会った人と連絡先(LINE等)を交換する(自分自身)
5. 推しのアイドルの写真をSNSで公開する(広い世界の人)

(見つける)	<p>⑥</p>  <p style="text-align: center; background-color: yellow;">対話のポイント</p> <p>・インターネットで行動するときの三つの合言葉を確認する</p>	<p>6. 自分が旅行先で撮った写真をSNSで公開する(広い世界の人)</p> <p>○複数のリングにあてはまってもよいことを伝える。</p> <p style="text-align: center; background-color: cyan;">感情を確認</p> <p>○グループで答えを共有し、グループで話し合った内容を全体でも確認する。</p> <p style="text-align: center; background-color: cyan;">原因を特定</p> <p>○互いに異なるリングを塗っているときには、議論できるようにする。選んだ理由も発表し合うことで、責任を果たすことを前向きに捉えられるようにする。</p> <p style="text-align: center; background-color: cyan;">対応を検討</p> <p>○ネットでの発言や投稿、共有、作ったものをアップロードすることも、まわりに影響を与えるため、行動する前には必ず一度立ち止まって、考え、相談することで、「責任」について考える必要があることを確認する。</p>	
まとめ(決める)	<p>4. 学習を振り返り、本時で学んだことをまとめる。</p>	<p>○自分のこれまでのインターネット上での行動を振り返るとともに、どのようにインターネットを利用し、行動していくのかを考えられるようにする。</p> <p style="text-align: center; background-color: cyan;">行動の準備</p> <p>○本時で使用したワークシートを持ち帰り、家庭と学びを共有する機会を設ける。</p>	<p>これまでの日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、これからのよりよい利用に向けて意思決定をし、実践しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>